



# がるガモ

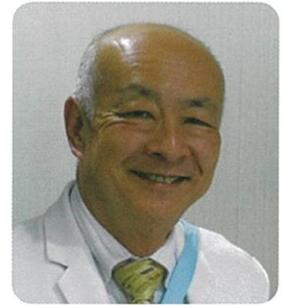
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kodomo>

2026年〈令和8年〉2月



## こども病院を支えてくださる皆様への感謝 ～千葉国際芸術祭2025の参加を通じて～

病院長 皆川 真規



千葉市が主催する千葉国際芸術祭2025が終了しました。

参加型アートプロジェクトは、今回が初めての開催で、今後は3年毎に開催されることになっています。こども病院もワークショップやイベントに参加させていただき、多くの患者さん、ご家族、職員が様々な体験をすることができました。外来ホールに設置した「STATION to STATION」と題する作品は、日本とオーストラリアのアーティストグループ「スロー・アート・コレクティブ」によるアートで、骨格となる竹の構造体に参加者が思い思いに紐を結んだり、編み込んだりして作り上げていくものです。

小児病院という感染症の患者さんや感染症に弱い患者さんへの配慮が特に必要な環境のため、一般非公開の裏イベント的な活動でしたが、多くの皆さんに楽しんでいただけたことと思います。

こども病院の活動は職員だけでなく、病気とたたかうこどもたちを元気づける外部の皆さんの力によって支えられています。ボランティアの皆さん、スポーツ選手、夢の国のキャラクター、演奏家やパフォーマーの皆さんや、「子どもたちのために」様々な寄附して下さる皆さんにあらためて感謝の意を表したいと思います。

## 看護局からのご挨拶

看護局長 平井 恵子



私は、2025年4月看護局長の拝命を受けました平井と申します。

看護局は、総勢345人の看護師が在籍しており、当院の理念である「その子らしく、その子のために」を掲げ、日々看護業務に努めています。

就任後、看護職員の目指すべき看護について調査したところ「安心・安全で寄り添う看護」を目標としていることが分かりました。これは、理念に通じる内容です。看護管理者達は、職員一人ひとりの目標達成のために総出で支援していく使命があると身の引き締まる思いがしたのを覚えています。

小児医療の特徴は、周産期から新生児期、思春期という幅広さ、希少かつ多様な先天・遺伝性疾患など個別性の高さ、小児集中治療の進歩に伴う専門性の高さがあります。そのため、基礎教育だけでなく自己研鑽にも努めています。

最後に、当院は開院後37年が経過し設備の老朽化が目立ちます。入院環境としていかななものかのご意見をいただくこともありますが、そこをカバーできる看護師達の笑顔があります。夏場のエアコン故障時には、笑顔は汗まみれでしたがそのようなひた向きの看護師達を支え、皆様方から選ばれるこども病院になるように、看護管理者一同力を合わせて令和8年も馬のごとく走り続けたいと思います。

# 感染管理室のご紹介

## 感染管理室って？

千葉県こども病院には、患者さん、ご家族、そして病院で働くスタッフを感染症から守るための部門として感染管理室があります。

病院には、風邪や胃腸炎をはじめ、さまざまな感染症が持ち込まれることがあります。とくに子どもたちは体の抵抗力が弱いため、感染症から守るための取り組みがとても大切です。

感染管理室は、病院長直属の独立した部署として、専門的な視点から院内の安全を守る役割を担っています。



## 感染管理室の主な仕事

### ● 院内の感染症を予防する仕組みづくり

日常の手指衛生や環境整備、感染が広がらないためのルール作りなど、お子さんが安心して過ごせる環境を整えています。

### ● それぞれの部門からの相談対応

外来や病棟、放射線科や栄養科など、院内のさまざまな部署から寄せられる感染対策に関する相談に対応し、アドバイスを行います。

### ● スタッフの教育や感染対策

新しい知識や対策を院内スタッフがしっかり理解し実践できるよう、研修や勉強会を行っています。また、スタッフへのワクチン接種を通じて、感染症の広がりを未然に防いでいます。

### ● 感染対策チームの取りまとめ

感染症に関わる多職種（医師・看護師・薬剤師など）と協力して、院内の取り組みを進めます。

### ● 外部機関との連携

保健所など外部の専門機関とも情報を共有し、安全な医療を提供できるよう連携しています。



## 安心して過ごせる病院づくりのために

みなさまが安心して当院をご利用いただけるよう、これからも感染症の“見守り役”として活動してまいります。

# 手術認定看護師

認定看護師 木村 実那

## 手術がお子さんにとって「がんばった体験」に繋がるような看護に励んでいます

はじめまして。手術看護認定看護師の木村です。

手術を受けることは、お子さんにとって恐怖心や痛みを伴う経験であり、トラウマ体験として、その後の治療や成長発達にまで影響を与える恐れがあります。

当院手術室では、周術期を通して手術を受けるお子さんやご家族との関わりに力を注いでおり、お子さんの認知発達に応じた説明を行っています。

私は、子どもに対して「事実を伝える」「嘘をつかない」ことを大切に、手術を受けることで何が期待できるのかを伝え、その子なりに手術の必要性を理解し、主体性を引き出せる関わり方を心がけています。

子どもが、その子なりに手術を受け止め、乗り越えたときには、お子さん自身から「頑張った」という言葉が聞かれます。

子どもの頑張った体験が、達成感や自己肯定感に繋がっている姿は、この上ない喜びであり励みにもなっています。



## 手術を受ける患者さん・ご家族のかたへ ～手術室を知ってもらう取り組みを行っています～



### 手術が決まると、外来で手術室を紹介するお手紙をお渡しします。(写真1)

入院前に、手術を受けることによって体験される出来事について少しでもイメージすることができるように、またお子さんが自ら手術に立ち向かうための心の準備ができるように、手術室に入る際の流れを「手術室探検ツアー動画」としてご案内しています。お手紙にあるQRコードを読み取っていただくと、ご自宅で手術室の様子をご覧いただけます。

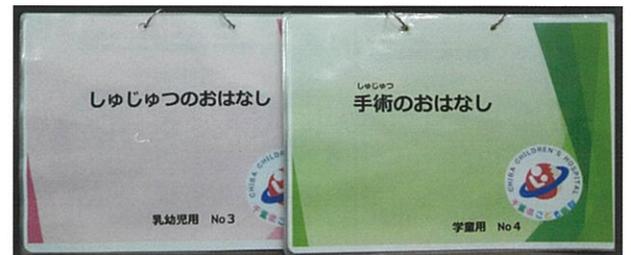


(写真1)

### 手術の前日には、手術室看護師による術前訪問を行っています。(写真2)

術前訪問を行い、お子さんやご家族の方から不安に思うことなどを教えていただき、それらの緩和に努めます。心身の準備を促すために、オリエンテーションを行うことで、安心して手術に臨めるように支援をいたします。

また、事前に面識を持ち良好な関係を築くことで、患者誤認や手術部位誤認を防ぐことも目的としています。



(写真2)

### 手術室探検ツアーに参加することができます。(写真3)

実際に手術室を見学することで、不安の緩和と手術室へのスムーズな入室を図ることができます。また、お子さんとご家族の方が一緒に体験できるため、ご家族にとってもお子さんが体験する状況を知ることができます。探検ツアーについては、入院後に病棟の看護師からご案内があります。



(写真3)

# 千葉国際芸術祭 2025

千葉市国際芸術祭では「おともといっしょ」に続き、「STATION to STATION」「今昔絵有動物借景」に参加し、こどもたちと楽しみながらアートに触れました。さらに、こども病院では STATION to STATION を「クリスマスツリー」へと変化させました！



## こどもたちに笑顔や勇気をたくさんいただきました！ ～ Thank you for everyone ～



**10月2日、12月4日 ピアノコンサート**  
スマイリングホスピタルジャパン  
ボサノバアーティスト Satoko さんによる  
パワフル&ソウルフルな演奏！



**12月15日 スポーツ選手訪問**  
千葉ロッテマリーンズ 中村選手  
元楽天監督 今江さん



**12月23日 心魂プロジェクト**  
元劇団四季や元タカラジェンヌによる  
ソング&ダンスパフォーマンス！

**11月28日～12月26日 ガラスアート**  
ボランティア団体金平糖による、  
草木染のツリーなどのデコレーション  
優しさあふれる色合いに、ほっこりです！



## 開催報告



### 第24回 千葉県こども病院 県民公開講座

令和7年9月23日(火) 開催

臨床心理士 今尾 真弓 先生に「薬物依存から考える若者の心理と支援」についてご講演いただきました。

### 令和7年度 地域医療連携公開講座

令和7年11月29日(土) 開催

多職種にご参加いただき、事例を通して地域連携について意見交換をする場を持つことができました。